

令和元年度 墨田区立第二寺島小学校 経営報告書

令和2年3月16日

学 校 目 標	豊かに関わり合い、確かな学力と豊かな人間性を育む学校
目 指 す 学 校 像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の学びを大切にする学校</li> <li>・ 保護者・地域との連携を大切にする学校</li> </ul>
目 指 す 子 供 像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よく考えて工夫する子</li> <li>・ 思いやりがあり助け合う子</li> <li>・ 体力のある元気な子</li> <li>・ ねばり強くやりぬく子</li> </ul>
目 指 す 教 師 像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供一人一人のよさや可能性を引き出す教師</li> <li>・ 多様な教育課題に対して組織的に協働しプラス思考で発信できる教師</li> </ul>

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的にICTを活用し、児童の興味関心を高める授業展開を工夫する。</li> <li>・ 「学力定着ニテラシー」リーフレットを活用し、自己の課題を学校と家庭で共有し、ふりかえりシート等を有効活用して基礎基本の確実な定着を図る。</li> </ul>	B	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内委員会等において、児童の情報共有と支援の手だてを検討する。</li> <li>・ 副担任制の実施により、きめ細やかな指導を充実していく。</li> </ul>	B	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校支援ネットワーク等を活用した体験型の授業を年54回実施した。今後も児童の夢や希望を育み、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等の充実を図る。</li> </ul>	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員相互の授業観察、校内OJT研修を通し、指導力向上と授業改善に努めた。今後も全教員が研究や若手教員の育成に関わる組織体制を充実する。</li> </ul>	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年連続学力向上という点で、教員の指導力が発揮されている。</li> <li>・ 授業参観では教師の児童への配慮がよく伝わってくる。</li> <li>・ 校長をはじめ、教員が児童に向かう姿に熱いものを感じる。</li> <li>・ 児童が学びに関心をもてるような教育に今後も取り組んでほしい。</li> </ul>		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイチェック、いじめ防止授業、いじめ対策委員会等を実施し、いじめの未然防止早期発見早期解決を図っている。</li> <li>・ 登校しぶりや2日以上欠席の児童への家庭訪問を徹底する。また、関係各所と連携し、情報共有、対応策を検討する。</li> </ul>	B	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「フレンドリータイム」(縦割り班活動)や幼保小中連携事業を充実し、思いやりや責任等の社会性を育成していく。</li> <li>・ 生活習慣の確立に向け、保護者地域との連携を強化する。</li> </ul>	B	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬物乱用防止教室、セーフティ教室、地域安全マップづくり、SNS 学校ルール特別授業、JRC と連携した防災教育等を実施した。今後も安全教育プログラムに基づき全職員による環境整備及び安全点検を徹底していく。</li> </ul>	A	A

様式 4

	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	・学校公開、各種たより、掲示板、ホームページの充実を図り、情報を積極的に発信した。 ・児童、保護者アンケートの結果を次年度の教育計画に反映していく。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	・児童が安全に過ごせるよう保護者、地域と協力している。 ・登校しぶりのある児童等に、学校と地域が連携して見守り支援している。			
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	・チームNITERAとして組織的に教育活動・学校運営を実施している。今後は、校務分掌等を見直し、改訂学習指導要領のもと、より充実した教育活動を展開する。	B	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	・校内評価委員会、学力向上委員会において児童の実態に応じた目標設定を検討し、改訂学習指導要領に即した適切な評価を行う。	B	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	・校内研究において、児童の学習環境整備を実施した。情報モラル推進校として、啓発グッズを作成配布、掲示物を工夫し、児童の活動の様子を地域・保護者に広げるとともに、計画的に環境整備に努めた。今後も持続・発展させていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	・情報モラル教育は地域や家庭も巻き込んで推進している。 ・管理職を筆頭に、教職員が一つになっている。このチームワークを大切にしてほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	・学年だよりをホームページで公開し、学校からの情報発信として教育活動の様子を分かりやすく伝えるよう努めた。今後はさらにタイムリーに情報発信を行う。	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・くすのき祭りや読み聞かせボランティア等、PTAや青少年育成委員会と協力・連携した各種行事を実施している。向島百花園や東武博物館等の近隣施設活用をさらに充実させていく。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	・PTA、町会と協力し合い、児童のためによく活動している。 ・町会、子供会等とおして、保護者の方も地域の行事等にも関わっていければよい。 ・地域の力を生かした行事や授業をよく行っている。 ・学校、保護者、地域とのコミュニケーション、情報共有等をより深めていける体制をさらに整えてほしい。			

2 令和元年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の健全育成に向けた学校の取組に対して理解や協力を得ることができた。</li> <li>・開校95周年記念事業を通し、保護者、地域との連携がより深まった。</li> <li>・学力向上の取組、多様な教育課題への対応等について、一定の成果が現れている。今後は学校の特色を生かした教育活動のさらなる充実に向け、「チームNITERA」として保護者、地域と連携・協働していく。</li> </ul>
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立第二寺島小学校 校長 江口 千穂